



病児保育室からのお知らせ

2023年10月



長く続いた夏の暑さもようやくおさまり、肌寒い日が増えてきました。特に朝や夕方はグッと冷え込むようになり、体調を崩すお子さんも増えてきそうです。この時期は風邪を引きやすいので、体が冷えないように上着を持ち歩くなど服装を工夫して過ごしましょう。

今月のトピック

今年はずでに増えている！ インフルエンザについて

主な症状：発熱、鼻水、せき、のどの痛み、頭痛、関節痛、倦怠感

インフルエンザウイルスの感染が原因で起こる病気です。例年、冬～春先にかけての発症が多いですが、今年はずでに感染者の増加がみられています。

インフルエンザウイルスは感染力がとても強く、寒気を伴う39-40度の高熱や全身の倦怠感が急速につよく現れます。熱があがると食欲が低下する場合があります。十分に水分補給をして、おかゆなど薄味で消化にやさしいメニューを選ぶとよいでしょう。

予防法としてはインフルエンザワクチンの接種があります。流行前に予防接種をしておくことで、体の中に免疫がつくられ、インフルエンザにかかりにくくなります。発症・重症化を防ぐためにも、かかりつけの医師にご相談のうえ、ワクチンの接種をご検討ください。予約が埋まってしまうこともあるので、早めの確認をお勧めします。

病院を受診する前にCHECK！ 医師に伝えたいこと

- 熱は何度あるか
- 体温の変化
- 発熱以外の症状
- 水分や食事が摂れているか
- おしっこがいつもどおり出ているか
- 解熱薬を使ったか
- 周囲に熱が出ている人がいるか

発疹を伴う場合は、発疹が出た時期が重要です。「発熱と同時」「解熱後」など、どの時期に出たかを医師に伝えましょう。

感染症について

病児保育室では、7～9月利用が多かった疾患として上気道炎、ヘルパンギーナ、RSウイルスが挙げられます。溶連菌の問い合わせも増えてきました。引き続き「手洗い・うがい」をしっかりとこない感染対策を継続しましょう。

お問合せ

TEL：080-3335-7716

月曜日～金曜日

8：30～18：00

担当看護師：神戸・佐藤